

『この岩の上に』 (マタイの福音書 16章 13-20節) 2023.1.29.

<はじめに> 教会はイエスの復活後に弟子たちによって形作られて行きました。その教会について、まだ具体化していない時にイエスが「わたしの教会」(18)と言及されています。この箇所から、教会へのイエスの御計画・御思いを探りましょう。

I わたしをだれだと(13-17)

①二つの質問(13, 15)

「人々は人の子をだれだと言っていますか」(13)は、周囲で見聞きするイエス理解を弟子に尋ねたものです。14節は多分、弟子たちが次々挙げた答えでしょう。しかし「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか」(15)は弟子たちのイエス理解を問われています。

②人々の声(14)

多くの群衆がイエスに期待して集まって来ました。多くは病からの癒しや空腹を満たされることを求めて、また権威ある教えとその現れを目撃しようとしてです。イエスは彼らを迎えて応えられましたが、彼らの期待と要求の上に教会を建てるとは言われませんでした。

③気づきと告白(16-17)

ペテロは「あなたは生ける神の子キリスト」と答えます。その答えは人間由来の知恵や洞察からではなく、天の父なる神が目を開かせてくださったのだ、とイエスは論されます。教会は、イエスが神の子・私の救い主である、と目を開かれ、告白する人たちのものです。

II 岩の上に教会を(18)

①教会を建てる

この表現を私たちも使い、大方は教会堂建築を思い浮かべます。しかし、イエスが言われたことは目に見えない霊的・内的な教会の建て上げを意図されています。「~の上に建てる」と、土台に目を向けさせます。何を土台にするかは建物の真価を決めます(7:24-27)。

②この「岩」とは

「あなたはペテロ(石)です。わたしはこの岩(ギリ:ペトラ)の上に、わたしの教会を建てます」とのイエスのことばは教会の礎石を示し、議論的のです。ペテロ個人とその後継者を指すとか、ペテロの告白(16)を指すなどで、その後の教会のあり方に影響が及んでいます。

③この岩の上に

「あなたは生ける神の子キリストです」とのペテロの告白を受けて、イエスは「この岩の上に」と言われました。ペテロはじめ、イエスをキリストと告白する者によって教会は支えられ、この告白を積み重ねて建て上げられます。これは今も変わらぬ教会の不動の礎です。

III 教会の役割(18-20)

①天の御国の鍵(18-19)

鍵を持つ者は自由に入入りでき、持たない者をさえぎります。よみの門は死をくぐった者を閉じ込めます。しかし、イエスから天の御国の鍵を与えられた者は、御国への門を開き、彼らを解き放つ権威が委ねられました。

②地上と天のリンク(19)

鍵はここではペテロに与えられましたが、18:18では他の弟子たちにも与えられています。つなぐとは禁じること、解くとは許すことです。イエスを神の子・私の救い主と告白する者には、イエスの名によって地上で為すことが天に直結する権威が与えられています。

③鍵を与えられた者として

鍵の管理者の責任は重大です。天の御国にすべての人を招き入れようと、イエスが救い主として来られ、罪が赦される道は既に開かれています。地上に生きる私たちは、自ら罪を赦された体験を通して、赦しと和解の福音をこの世で示す役割が与えられています。

<おわりに> イエスこそ神の子キリスト、と目が開かれたのは、ペテロも私たちも父なる神・聖霊なる神(1コリント12:3)の働き掛けがあったからです。今も神は働いておられます。だから私たち教会も、イエスとその福音を証しし、宣べ伝え、天の御国を建て上げるのです。(H.M.)